

一宮市男女共同参画推進懇話会会議録（概要）

会 議 名	第 4 回会議録
開 催 日 時	平成 22 年 10 月 26 日（火）10：00～11：00
開 催 場 所	一宮庁舎 3 階 特別会議室
出席委員氏名	岩田信弘委員、岩田雪代委員、岩満委員、岡西委員、倉兼委員、佐々木委員、柴垣委員、渋谷委員、瀧委員、土屋委員、中村委員、森委員、渡辺委員 計 13 名
欠席委員氏名	津田委員、松本委員 計 2 名
出席した市職員	企画部長、次長、企画政策課長、同副主監 1 名、同主査 1 名、同主任 1 名、同主事 1 名、子育て支援課長 計 8 名
会 議 事 項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 市民憲章唱和 2. 会長あいさつ 3. 市長への答申 4. 市長あいさつ 5. 市長との懇談 6. その他
会 議 内 容	
事務局（課長）	<p>定刻になりましたので、ただいまから、平成 22 年度第 4 回一宮市男女共同参画推進懇話会を始めさせていただきます。</p> <p>本日は、15 名の委員のうち、津田委員、松本委員からご欠席の連絡をいただいておりますのでよろしくお願いします。</p> <p>続きまして、会議資料の確認をさせていただきます。お手元の次第の下部に記載してございますが、事前に送付させていただいております答申の写しです。お持ちでなければお申し出ください。</p> <p>それでは、次第 1、一宮市民憲章のご唱和をお願いします。恐れ入りますがご起立をお願いします。市民憲章は、お手元の次第の裏面をご覧ください。先導は企画部次長の小島が努めさせていただきます。</p>
事務局（次長）	＜市民憲章唱和＞
事務局（課長）	<p>ありがとうございました。</p> <p>ここで、次第には記載してございませんが、少しお時間を頂戴しまして、防犯一口広報並びに交通安全一口広報をさせてい</p>

	<p>たきます。</p> <p style="text-align: center;">＜防犯一口広報＞ & ＜交通安全一口広報＞</p> <p>ありがとうございました。 それでは、次第2に移りまして、佐々木会長からごあいさつをいただきます。</p>
佐々木会長	<p>委員の皆様、ご多用のところご出席いただきましてありがとうございます。 新一宮市男女共同参画計画の策定につきましては、平成21年3月からアンケート調査の内容を検討し、昨年10月に市長より諮問いただき、それから約1年になりますが、皆様方のご協力により懇話会や起草部会を開催いたしました。ワークショップも行いました。先回の懇話会でおおよそ取りまとめができましたので、本日市長へ答申をいたしまして、パブリックコメントを通して新しい計画に新年度から入っていく予定です。いろいろとご協力いただき、ありがとうございました。またお世話になりますが、どうぞよろしく願います。</p>
事務局（課長）	<p>ありがとうございました。続きまして、次第3、「市長への答申」に入らせていただきます。佐々木会長から市長へ「答申」をお渡し願います。</p> <p>＜その場で起立。向かい合う。答申文を読み上げ、市長に渡す＞</p>
事務局（課長）	<p>市長より、委員の皆様にごあいさつ申し上げます。</p>
市長	<p>ただいま、佐々木会長さんから答申を頂戴いたしました。お忙しい中、昨年10月から1年間、懇話会、市民ワークショップ、起草部会など十数回におよぶ議論の積み重ねにより、この答申をおまとめいただきましたことに、あらためて敬意を表し、感謝申し上げます。ありがとうございました。</p> <p>もともと男女共同参画社会の実現というのは、女性が社会参画できるよう、もっと門戸を広げようと、敷居を低くしようということが始まりだったと思います。まだまだ十分とは思いませんが、最近は男性のほうもがんばっております。今日も「男</p>

	<p>女共同参画サテライトセミナー」のチラシを見まして、イクメンの方の写真が出ておりました、「パパの子育て応援します」という講演名で、男性も従来は女性の役割とされていたところに少しずつ入り始めているということが、皆様方の意識の変化、社会そのものの空気が変わってきているのだろうなあとと思います。長年続いた文化を変えろということになりますので、なかなか困難なことだろうと思いますが、少しずつでも取組んでいきたいと思います。</p> <p>本市におきましても、平成12年3月に現計画である「いちのみやし男女共同参画計画」を策定して推進してまいりました。この計画の唯一の数値目標であった「平成22年度までに審議会等委員への女性登用率30%」は、今年度に何とか達成することはできましたが、市民アンケートの結果を見ましても、まだまだ男女共同参画社会が実現したとは言いがたい状況にあります。</p> <p>そうした反省を踏まえ、社会情勢の変化に対応するため、この答申では、第6次一宮市総合計画のように、市民アンケートや市民ワークショップにより市民ニーズを把握して課題の明確化をはかり、計画の進み具合を定期的に確認するために20項目に及ぶ指標とその目標値を設定されたと聞き及んでいます。また、最近特に顕在化しつつあるDVをはじめとする女性に対する暴力の問題も大きく取り上げられていただいたことも、担当職員から報告を受けています。</p> <p>今後は、今回いただきました答申に基づきまして新計画を策定して、男女共同参画を推進に心して取り組んでまいりたいと存じます。今後とも、どうぞ、皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。</p> <p>本日は、ありがとうございました。</p>
事務局（課長）	<p>ありがとうございました。続きまして、次第5、「市長との懇談」に入らせていただきます。ここからの進行は、佐々木会長にお願いいたします。</p>
佐々木会長	<p>それでは、議事を進行させていただきます。</p> <p>「市長さんとの懇談」ということですが、まずは、委員の皆様から、この答申に対する今の思い、感想など、なんでも結構</p>

<p>渋谷委員</p>	<p>ですのでお話しください。</p> <p>このたびは皆さん本当にお疲れさまでした。市長さんにはぜひこの計画をじっくり読んでいただければと思います。計画は作ってしまっておしまいではなく、作ったからこそ生かしていくものだと思うので、進捗管理や目標値なども設定していますし、これからも見守っていきたいと思います。これからパブリックコメントもありますので、それも反映していただいて、より実りのある計画にさせていただきたいと思います。委員の皆さんのひとりひとりのお力の賜物だと思っています。今後どうぞよろしく願いいたします。こういう機会をいただいてありがとうございました。</p>
<p>市長</p>	<p>計画を作るだけでなく生かしていくということは、まさにその通りだと思います。従来はコンサルタント会社にお任せして作成していて立派な冊子ができるがあまり活用されておりませんでした。これはおかしいことであるので、今は業者任せの計画づくりは極力していません。市民の皆さんに参加していただいて、ワークショップなどでいろいろな方の意見をいただいて、手作りで作っていただいています。職員も主体的に動くということを理解しています。結果はまた別ですが、実現に向けてきちんと取組ませたいと思います。</p>
<p>倉兼委員</p>	<p>学校教育の場の代表として参加しています。教育における男女の地位の平等感については、子どもたちの意識が一番変わってきていることがアンケート結果でも分かりますが、これをもっと高めていくために教職員がよりサポートしていかなければならないと思います。男女の平等についての意識が高い、若い教員も多いので、そういうことを生かして子どもたちを育てていきたいと思っています。</p>
<p>市長</p>	<p>教職員の世界では一般社会と比較すると女性管理職の登用が多いですか。</p>
<p>倉兼委員</p>	<p>はい。育児休業が3歳まで取得できる状況であったり、育児短時間制度も導入されており、男性教員が子育てするなど制度</p>

<p>柴垣委員</p>	<p>としては整備されてきています。残念ながら、そこに対応する定員については充実されておらず、学校内で調整されなければいけません。制度を利用しにくいということがないようにしていきたいと思います。</p> <p>女性の会から代表で参加しています。今年初めて参加したので知らないことばかりで、名古屋市の男女共同参画の活動にも参加していますが、皆さんすごく活発に活動されていることに驚きました。少しずつそういうことをもとに手作りでいろいろされて、こういう案が出てきています。私も今年1年すごく勉強になりました。</p> <p>町内では男性は男性、女性は女性で活動していますが、まず、少しでも身近なところからと思い、男女交えて活動できるよう、声かけをしています。</p> <p>まだまだ勉強することが多いですが、市民にもっと浸透していき、市民からのいろんな意見を知ってもらって、それについていろんな意見が出るともっといい会になると思います。</p>
<p>市長</p>	<p>初めて参加された方は、市職員は結構働いていると思いませんでしたか。</p>
<p>柴垣委員</p>	<p>外から見ていると分からないが、会議を開催するにも細かい事務や準備などがあり忙しいと思いました。</p>
<p>岩田雪代委員</p>	<p>私はPTA母親代表会から今年度初めて参加しました。我が家の家庭内で男女共同参画について知っているかどうか聞いたところ、子どもたちは学校で習って知っていて、大学生の子は下宿しているので家事は全て自分でやっていて、母親の大変さが分かったと言っていますが、50代の主人だけには分からないと言われました。今後主人に理解してもらえるように努力したいです。</p>
<p>岩満委員</p>	<p>青年会議所を代表して参加しています。青年会議所は明るい豊かなまちづくりを基本理念としており、同じ考えで真剣にできる会議で、すばらしい会議だと思いました。</p> <p>中身について、2点言いたいことがあります。まず女性の雇</p>

<p>市長</p>	<p>用のことですが、途中から参加しましたので、いろんな検討過程があったかと思いますが、子どもがインフルエンザ等で何日も休む場合に、女性が4日、5日続けて休まなければいけないことがあります。我々、女性を雇用する逆の立場で言いますと、重要なポストにいる女性が4日、5日休まれると困ってしまう。女性の雇用問題を考える場合に、行政で対処してもらえると良いと思います。</p> <p>もう一点、DVについてですが、名古屋市へ出かけたときに、DVに関する箇条書きのようなものがあり、その中に「家庭で主人が話を聞いてくれない」というものがありました。当たり前のことでも文章として掲示されることで、また気づかされることもあるなと思いました。</p> <p>子どもが病気のとときにどのように預かるかについては難しい問題です。一宮市もやっと病後児保育を始めましたが、病中の子どもを預かることは、何かあったときに責任問題となるため、やはり親が預かるべきですし、むしろ会社が責任をもってやるほうが良いのではないかと思います。また、DVについてですが、身体的な虐待に加え、心理的虐待もあると思います。</p>
<p>岩田信弘委員</p>	<p>会社の中で人事に絡む仕事をしており、男女共同参画の知識や取組も多少行っているつもりでしたが、この会議に参加して、改めてどんなところ、どんな視点で取組んでいったら良いのか勉強になりましたし、行政もいろいろな取組を行っていることが分かりました。また、アンケート結果でも年代層によって意識の差があり、これも行政の取組の成果が若年層で出てきていると感じました。社会を見渡しても、女性社員が育児休業を経て引き続きキャリアを生かす方が増えてきていて、男性社員も運動会や児童参観に参加しています。年配の社員は仕事優先という考えを持つものもありますが、そういう社員や若い社員に対してもっと情報提供や取組が必要であると感じました。</p> <p>一般市民に対する行政の取組、制度づくりや啓発についても今後注意して、期待して見ていきたいと思っています。またいろんな機会に参加させていただきたいです。</p>
<p>岡西委員</p>	<p>私は先回の計画づくりにも参加させていただいて、その後も</p>

	<p>ずっと懇話会に参加させていただきました。この10年間で社会情勢も市民意識もものすごく変わってきました。10年前、まだ女性問題と言っていましたが、市民意識を変えないといけないということで、懇話会で何ができるか検討した結果、情報紙「いーぶん」が生まれました。年2回の発行ですが、編集委員はボランティアで何度も打合せを行い、「いーぶん」を育ててきました。景気は悪いですが、テレビでイクメンということで、若い父親が堂々と子どもを抱えている姿を見ると幸せであるなと思います。やはり子どもは両方の親が育てることが大切であり、男性と女性が協力し合わないと社会は成り立たないと思います。また、今回の計画にもありますが、男女共同参画の根源は人権であると思います。権利ばかり主張するのではなく、義務も果たすという、そういう気持ちを持ちながら、男女がお互い協力し合うことで豊かな社会ができると思います。「いーぶん」もこれからもどんどん育って行って、たくさんの人の意識の中に、男女お互いを思いやる心が育っていったらいいと思います。そういう節目のときに策定に関わることができてうれしく思いますし、またいろんな形で自分ができることを協力していきたいと思います。</p> <p>女性の登用率が30%を超えましたが、素晴らしい方がまだみえますので、どんどん発掘していただきたいし、そういう方の育成の場もたくさんほしいですし、意見交流の場もあればと思います。出前講座ももっと活用していただいて、行政も市民の中に入ってきてほしいと思います。</p> <p>企画政策課から依頼されて、愛知県男女共同参画人材育成セミナーを1年間受けてきまして、男女共同参画って何か分からなくて、本を買って読んだりして勉強してきました。</p> <p>「いーぶん」が初めて発行された平成13年当時、私はPTAの母親代表をしていまして「いーぶん」を目にしたのですが、男女共同参画ということが理解できていなかったし、自分には関係ないことかなと思っていたのですが、このセミナーを受けて、若い人たちのためにこの運動は進めていかないといけないことだと思いました。うちの息子も結婚しまして、嫁がやはり働きたいということで、私も応援しておりますし、子どもができて協力するということを伝えました。我が家から男女共同</p>
--	---

中村委員

<p>森委員</p>	<p>参画を進めていかないとと思ってがんばっています。ぜひ市でも子育てや介護に支援をお願いしたいと思います。</p> <p>公募ということで昨年10月から参加しておりまして、ちょうど1年になりました。私も市民として、社会保険労務士として、男女共同参画に興味はあったのですが、実際に1年間勉強させていただいて本当に感謝しています。私は今年度の愛知県男女共同参画人材育成セミナーに参加しておりまして、各市町のセミナー受講者と一緒に勉強する機会をいただいて、これは本当に実現させなければいけないと思いました。今、各市町の男女共同参画の取組について調べていまして、男女共同参画は一つの部署で行われていないので、企画政策課の職員の方にいろんな部署を紹介してもらい、話を聞く機会があったのですが、一宮市の職員の方も本当にがんばっているのだということが良く分かりました。今度の計画も実現されればとても素晴らしいと思いますし、私もできることがあれば協力したいと思いますし、これからも見守っていききたいと思います。</p>
<p>瀧委員</p>	<p>私は、本当は仕事を続けたかったのですが、子どもを出産するときに会社を辞め、育児に専念することにしました。母親でも子どもを育てる喜びを得ながら働ける社会にしたいと思ったとき、会社に理解してもらわなければならないと思いました。それを指導できるのは行政だと思い、一市民、一母親、働きたい女性として何かできないかと思い公募に申し込みました。参加できて本当に良かったと思っています。</p> <p>自分の夫は今でいう「イクメン」、「カジダン」であり、自分は恵まれた環境であると思います。会社でも入社したばかりですが、子どもの病気の都度何度もお休みをいただけます。制度としてはどの会社もあると思うのですが、実際に取ることができるのは、その会社の男性上司の理解があるからだと思います。子どもがいるけど働きたいという気持ちを理解してもらえるということは、ものすごく幸せなことなのです。今、私はとても充実していまして、働きながら子どもを育てられることが幸せです。夫や会社、保育園の先生などいろんな方に感謝しています。こういうふうに見える人がたくさん増えたら、犯罪とか減るのではないかと、皆がやさしい気持ちになれるのではないかと</p>

<p>市長</p>	<p>と思います。男女共同参画はとても重要なことだと思いますので、私でお力になれることがあれば協力していきたいと思います。</p> <p>こんなこと聞いてはいけないかもしれませんが、二人目のお子さんも考えられていますか。</p>
<p>瀧委員</p>	<p>もちろん考えています。</p>
<p>土屋委員</p>	<p>私は職業安定所の所長をしており、この会に参加させていただいております。就業の場における男女共同参画の環境づくりについて、男女が差別なく働けると感じている人のアンケート結果での割合が37.4%、8年後には51%、半数以上を目指すということですが、このことについて、職業安定所で事業主から求人をお願いしているということもあり、そういう場において男女雇用機会均等法もありますし、この会での意見なども行政の中で生かしていきたいと思います。今後とも市とも連携しながら男女差別なく働けると感じている人の割合が速やかに半数以上となるように、窓口で事業主への働きかけに努めていきたいと思います。</p>
<p>渡辺委員</p>	<p>今年度の役員改選で懇話会に参加することになりました。率直に感じたことは、皆さんが真剣に取り組まれており、大変議論が白熱していることに驚きました。</p> <p>私も子どもが3人おりました、父親として学校行事に積極的に参加しておりますが、中学校では「おやじの会」というのがありまして、先日は尾西まつりに「おやじの会」として父親が集まって模擬店や遊びのコーナーを子どもたちと一緒に行いました。そういった活動を通して子育てについて取り組んでいます。</p> <p>答申ができて計画がありますよというだけでなく、計画を実行していいまちづくりを行っていききたいと思います。</p>
<p>佐々木会長</p>	<p>委員の皆様にはまだこれからも仕事がありますが、今日の答申に至るまで大変お世話になりました。行政のほうも企画部長始めいろいろお聞き取りいただきましてありがとうございました。</p>

	<p>女性問題懇話会ということで、平成 8 年度に始まりましてそのときから会長を務めておりますが、私はずっと女子の短期大学におりましたので、女性向きの講義が多く、学科長あたりでもそれ以前から女性の方が就任しておりましたので、それほど違和感はありませんでした。</p> <p>経済面を除いて、まだまだ日本の場合には行政主導型で、行政が先へいくと民間が後からついてくるという面がありますので、答申の中に盛り込まれているいろいろな問題についても、市役所でも精一杯がんばっていただきたいと思います。</p> <p>このあたりで市長への答申の話は終わりにしたいと思いません。最後に「その他」について、事務局より、何かありますか。</p>
事務局（課長）	<p>事務局より今後のスケジュールについて説明させていただきます。答申をいただきましたので、次回 11 月 22 日開催の第 5 回懇話会で中学生インタビューなどを加えた計画の最終案を報告させていただきます。（通知文は当日配布）そして、12 月のパブリックコメントを受けて、修正すべき点があれば修正し、年明けの 2 月 7 日開催の第 6 回懇話会で完成した計画をご報告する予定になっています。</p> <p>以上が、年度内のスケジュールの概要となります。よろしくお願いたします。</p>
佐々木会長	<p>事務局から、今後のスケジュールについて説明がありました。が、ご意見、ご質問等ございましたら、いただきたいと思いません。</p>
事務局（課長）	<p>事務局よりもう一点だけお話をさせてください。先ほど市長のほうからも触れましたが、皆様方へ男女共同参画サテライトセミナーのチラシを配布いたしました。これは愛知県の財団法人あいち男女共同参画財団と一宮市の共催で行います。ぜひお知り合いの方にご紹介ください。</p> <p>長時間のご審議ありがとうございました。</p> <p>事務局からは以上です。本日はありがとうございました。</p> <p>会議終了（11：00）</p>

